2018年3月期第3四半期決算説明資料

株式会社ナガワ

東証一部:9663

	平成29年度 第3四半期	(平成29年4月1日~ 平成29年12月31日)	業績の概況
	TOPIX 連結 決算概要 セグメント別:連結売上高。 セグメント別:概況 連結 設備投資/減価償却費		2 3 5 8 11
1	平成29年度 通期	(平成29年4月1日~ 平成30年3月31日)	業績の見通し
	連結 決算概要 セグメント別:連結売上高, セグメント別:概況 設備投資	/営業利益	13 14 17 20
	参考資料		
	連結 貸借対照表		22



平成29年度 第3四半期

(平成29年4月1日~ 平成29年12月31日)

業績の概況



建設市場全般

実質GDP成長率が継続して穏やかなプラス成長を示し、雇用・所得環境の改善も継続的に推移した一方で 欧米の政治・経済情勢、東アジアの政治問題は不確実性が高まり、依然として先行き不透明な状況で推移 しました。

建設市場においては、オリンピック関連需要および大都市圏における再開発事業など民間設備投資で明るい兆しが見え始めたものの、災害関連予算が減少した関係で建設工事費予定額は概ね横ばいとなっています。

主な取組み

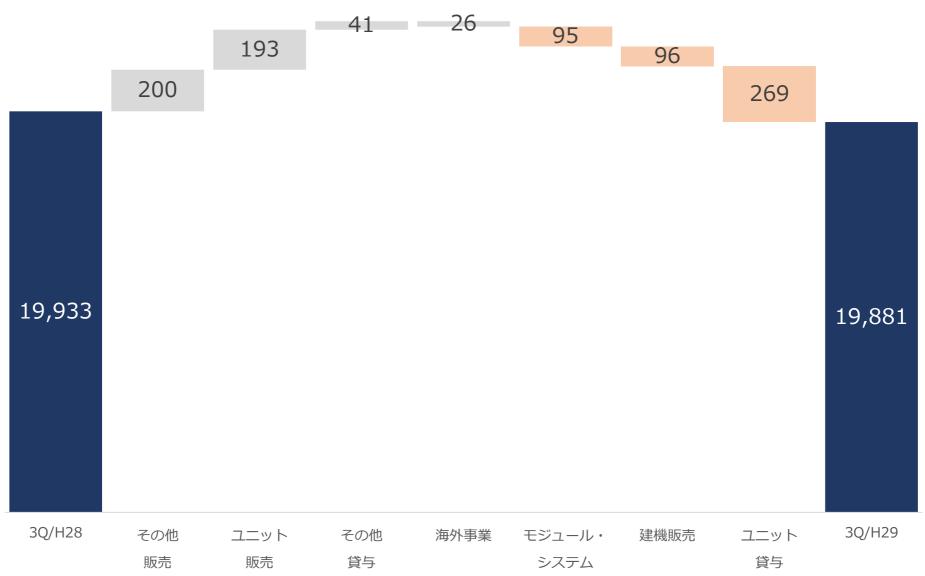
- 1.モジュール・システム建築における全国上位地場ゼネコンとの請負体制の協業展開強化
- 2.海外事業における既存進出国の単年度黒字化と、欧米・東南アジア地域への次期出店国模索
- 3.全国スマイルステーション(展示場)のサテライト出店加速
- 4.北海道建設機械事業における高収益機械への投資加速
- 5.全国デポセンターの自社地化の推進



	3Q/H27	3Q/H28	3Q/H29	前期比	増減率	予算計画	計画比
売上高	18,667	19,933	19,881	▲ 52	▲ 0.26	21,240	▲ 1,359
営業利益	2,765	2,948	3,138	190	6.45	3,320	▲ 182
経常利益	2,632	3,068	3,282	214	6.98	3,470	▲ 188
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,521	1,985	2,122	137	6.90	2,080	42
総資産	37,018	38,347	40,416	2,069	5.40	-	-
純資産	33,145	34,635	36,926	2,291	6.61	-	-
自己資本比率(%)	89.5	90.3	91.3	1.0	1.11	-	-
1株当たり純資産	2,386.77	2,530.22	2,697.66	167.44	6.62	-	-







売上高	3Q/H27	3Q/H28	3Q/H29	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	15,973	16,705	16,717	12	0.07	16,865	▲ 148
モジュール・システム建築事業	1,804	2,248	2,158	▲ 90	4 .00	2,550	▲ 392
建設機械レンタル事業	890	980	1,005	25	2.55	935	70
合計	18,667	19,933	19,881	▲ 52	▲ 0.26	21,240	▲ 1,359

(単位:百万円)

営業利益	3Q/H27	3Q/H28	3Q/H29	前期比	増減率	予算計画	計画比
ユニットハウス事業	2,835	2,821	2,975	154	5.46	3,030	▲ 55
モジュール・システム建築事業	110	134	228	94	70.15	180	48
建設機械レンタル事業	34	216	175	▲ 41	▲ 18.98	35	140
全社又は消去	▲ 214	▲ 223	▲ 240	▲ 17	7.62	▲ 225	▲ 15
合計	2,765	2,948	3,138	190	6.45	3,320	▲ 182

(単位:百万円)



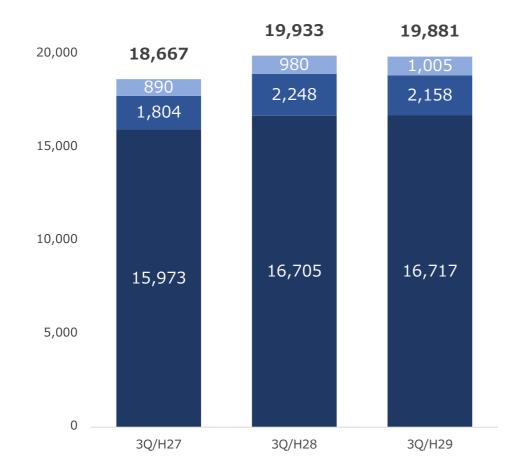
(単位:百万円)

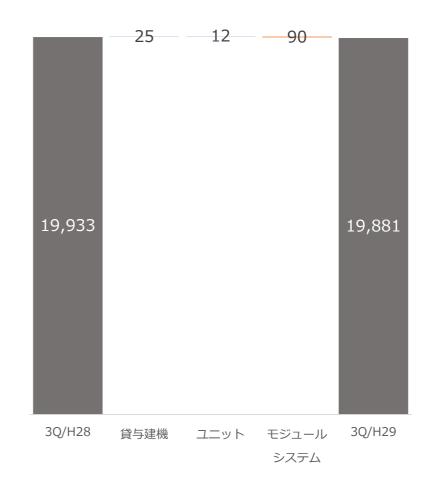
セグメント別売上高推移

セグメント別売上高増減

■ユニットハウス事業 ■モジュール・システム建築事業 ■建設機械レンタル事業

25,000



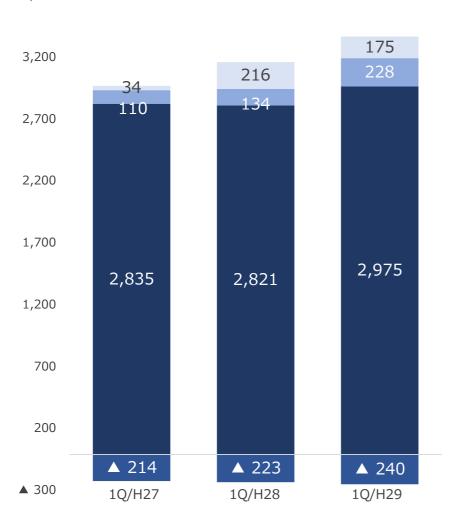


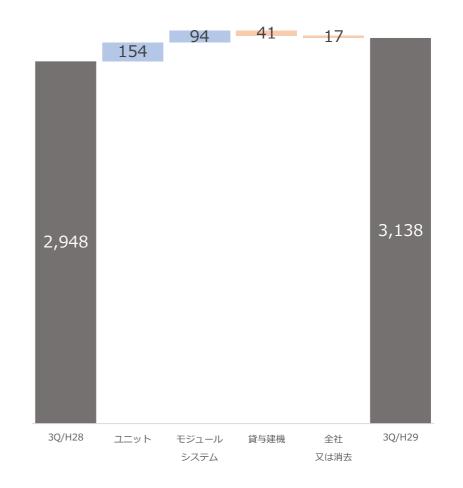


セグメント別営業利益推移

セグメント別営業利益増減









ユニットハウス事業

(単位:百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
16,717	12	▲ 148	2,975	154	▲ 55

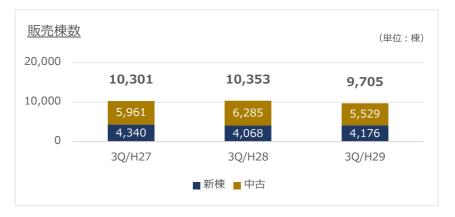
• 販売

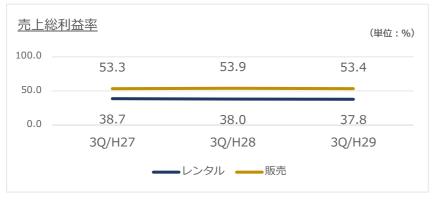
販売は新棟販売が好調、中古販売はキャンペーン実施時期のずれから減少しており、2018年1月度よりキャンペーンを実施中。 売上高、および粗利益率はほぼ横ばい。

・レンタル

売上減少は前期特需(熊本地震応急仮設住宅・伊勢志摩サミット)の影響によるもので実質は増収であり、稼働率も5ポイント改善。











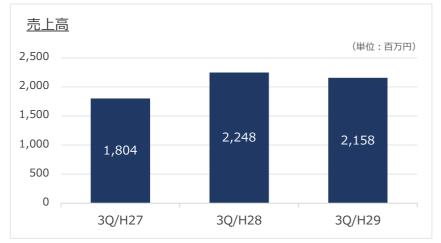
モジュール・システム建築

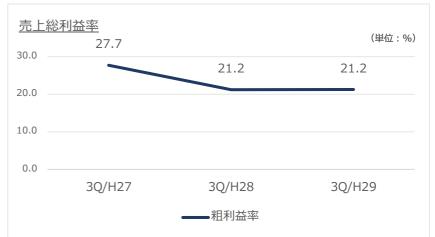
売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
2,158	▲ 90	▲ 392	228	94	48

民間向けの事務所および工場倉庫の受注高が堅調に推移した一方、海外においては受注拡大を図るため営業体制の強化に注力した。また、整備新幹線延伸関連の官公庁案件や郵便局等、公共性の強い大型案件が堅調に推移した。







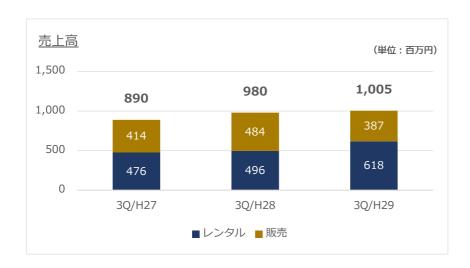




建設機械レンタル事業

北海道南部建設市場の公共工事請負金額に減少傾向が見られるなか、 昨年発生した災害の復旧需要によりレンタル売上が堅調に推移した。 また、地域に密着した営業活動の強化と、貸与資産管理の緻密化によ る資産効率の向上や、固定費の圧縮に努めた。

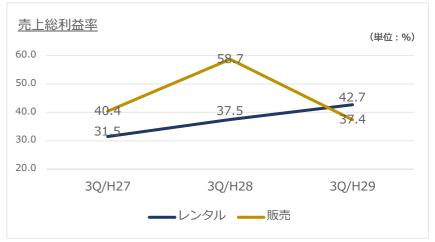
売上・利益面共にレンタルが好調なことから、建設機械の更新投資時期を一部下期以降にずらしたため、増収減益となっている。



(単位:百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
1,005	25	70	175	▲ 41	140

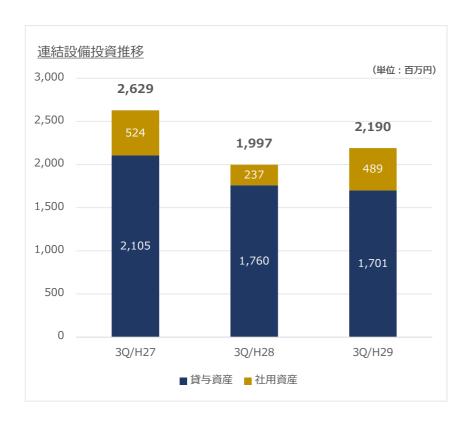






設備投資/減価償却費

貸与ハウス投資は、若干の増加である。旺盛な需要に対応するため、下期以降さらに増産を予定している。







平成29年度 通期

(平成29年4月1日~ 平成30年3月31日)

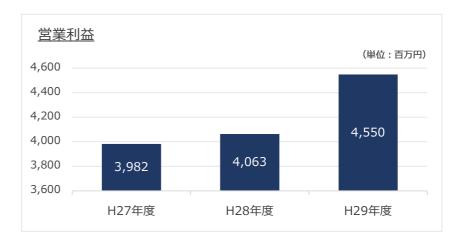
業績の見通し



	平成27年度	平成28年度	平成29年度計画	前期比	増減率
売上高	26,330	27,057	29,000	1,943	7.18
営業利益	3,982	4,063	4,550	487	11.99
経常利益	3,952	4,365	4,600	235	5.38
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,268	2,833	2,750	▲ 83	▲ 2.93
総資産	38,773	39,571	_	_	_
純資産	33,827	35,324	_	_	_
自己資本比率(%)	87.2	89.3	_	_	_
1株当たり純資産	2,435.88	2,580.60	_	_	_









売上高	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前期比	増減率
ユニットハウス事業	21,674	22,666	23,500	834	3.68
モジュール・システム建築事業	3,173	3,052	4,100	1,048	34.34
建設機械レンタル事業	1,483	1,339	1,400	61	4.56
合計	26,330	27,057	29,000	1,943	7.18
					(単位:百万円)

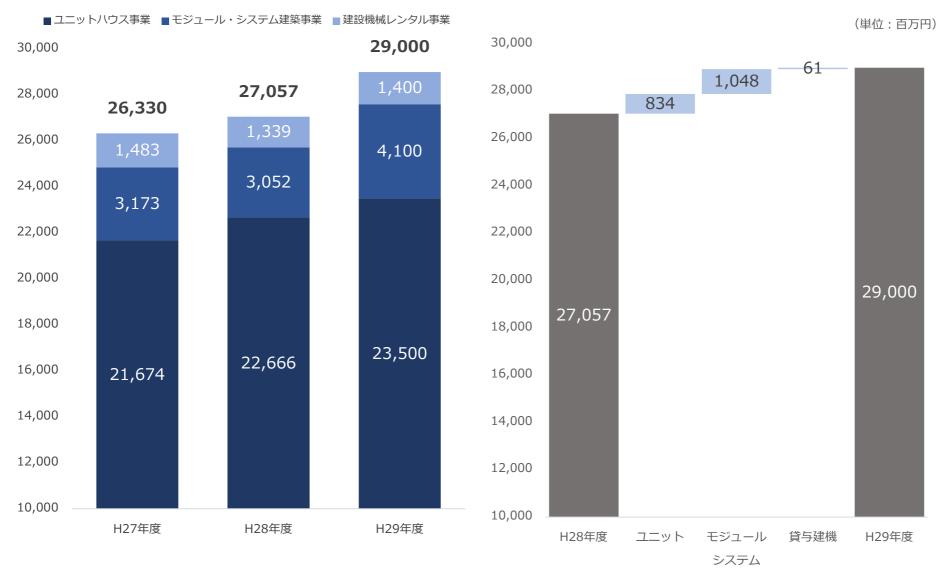
営業利益 平成27年度 平成28年度 平成29年度 前期比 増減率 ユニットハウス事業 3,976 3,860 4,360 500 12.95 210 モジュール・システム建築事業 197 380 183 92.89 建設機械レンタル事業 88 300 110 **190 ▲** 63.33 全社又は消去 **▲** 292 **A** 300 ▲ 294 **A** 6 2.04 合計 3,982 4,063 4,550 487 11.99

(単位:百万円)



セグメント別売上高推移

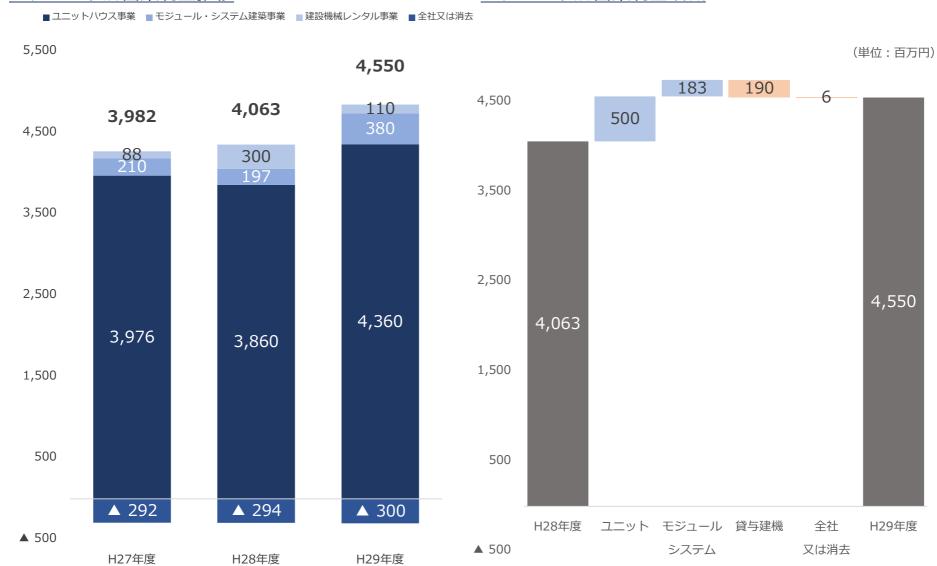
セグメント別売上高増減





セグメント別営業利益推移

セグメント別営業利益増減





(単位:百万円)

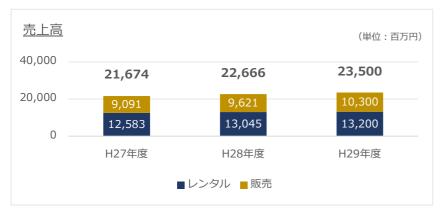
ユニットハウス事業

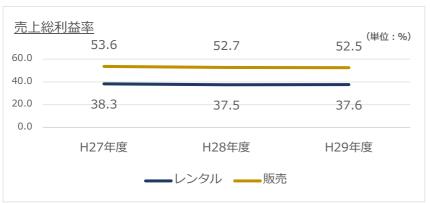
• 販売

売上高前年比計画比営業利益前年比計画比23,50083422,6664,3605003,860

常設・サテライト展示場出店の強化―「母店出店1」に対し「サテライト出店4」のドミナント戦略出店。 中古販売促進の継続。

- ・レンタル
 - ①オリンピック関連仮設需要の開拓
 - ②エンドユーザーへの直接営業の推進
 - ③国体等イベント関連受注の促進











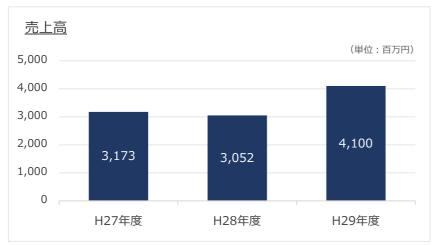
モジュール・システム建築

(単位:百万円)

売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
4,100	1,048	3,052	380	183	197

各地域ゼネコンとのアライアンス強化(協業)を推進し、施工体制をより強固なものとするとともに、工事品質の向上と原価圧縮につとめ、 売上・利益ともに増加を図る。









建設機械レンタル事業

(単位:百万円)

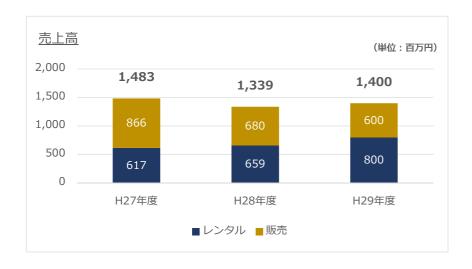
売上高	前年比	計画比	営業利益	前年比	計画比
1,400	61	465	110	1 90	75

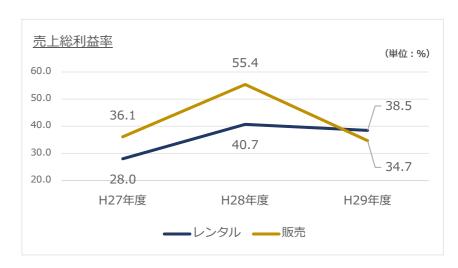
■業界動向

- ・リゾート開発/ホテル開発の継続
- ・災害復旧需要の増加
- 北海道新幹線の整備

■当社の取組み

- ・機種別採算強化による高採算機械への積極投資と、適正保有徹底による売上/利益の増加
- ・整備士の資格取得推進による人材強化

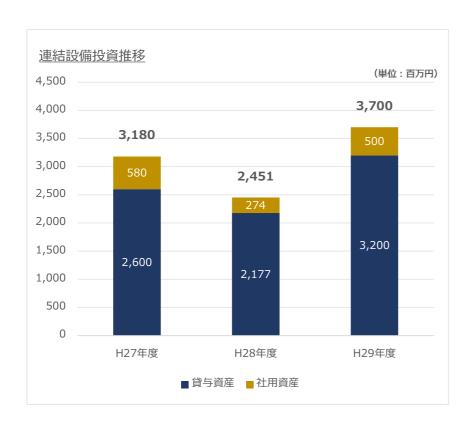


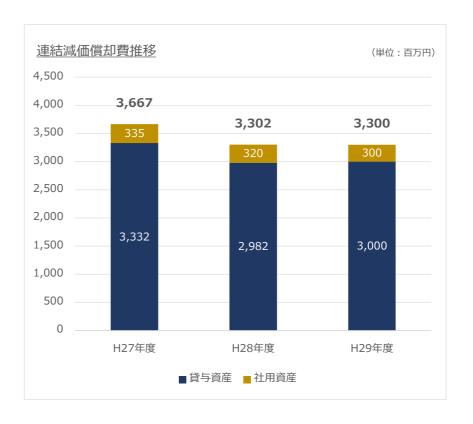




設備投資/減価償却費

- 1.貸与ハウス
 - 販売促進による更新投資継続
- 2.貸与機械
 - 機種別採算強化による高採算機械への積極投資
- 3.社用資産
 - 工場のロボット化推進/センターの自社地化による長期的固定費圧縮







参考資料



	H27年度	H28年度	H29年度 3Q/H29
現金及び預金	9,126	11,382	11,863
受取手形及び売掛金	7,291	7,398	7,262
商品及び製品	1,969	1,517	1,477
その他	606	542	611
流動資産合計	18,992	20,839	21,213
貸与資産	9,986	9,124	8,708
建物及び構造物	1,830	1,695	1,727
土地	6,585	6,610	6,564
その他	319	242	226
有形固定資産合計	18,720	17,671	17,225
無形固定資産	120	101	86
投資その他の資産	939	959	1,892
固定資産合計	19,781	18,732	19,203
資産合計	38,773	39,571	40,416

	H27年度	H28年度	H29年度 3Q/H29
買掛金	1,895	1,631	1,618
その他	2,845	2,375	1,739
流動負債合計	4,740	4,006	3,357
固定負債	205	240	132
負債合計	4,946	4,247	3,489
資本金	2,855	2,855	2,855
利益剰余金	28,945	31,223	32,798
その他	1,891	1,201	1,201
株主資本合計	33,691	35,279	36,854
その他の包括利益累計額	135	44	73
純資産合計	33,827	35,324	36,926
負債純資産合計	38,773	39,571	40,416







この資料は、株式会社ナガワ(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。